



舵輪

第154号
2018年夏発行

帆船海王丸ふね遺産認定

公益社団法人 日本船舶海洋工学会

4月～7月の行事結果

総帆展帆①

4月22日(日)に平成30年度、第1回目の総帆展帆を実施しました。通算240回目の記念すべき展帆日となりました。

船体の塗装を新しくしたばかりなので、とても綺麗な「海の貴婦人」を多くの方に見てもらうことができました。



4月の清々しい気候での展帆作業は、とても気持ち良く、参加されたボランティアさんの笑顔に触れることで「お！今年もはじまったか！」と元気が湧いてきました。

ちびっ子天国 in 海王丸パーク

5月3～6日の4日間に海王丸パークではちびっ子天国を開催しました。イベント前半はあいにくの天気で「カッター・セーリング教室」や「親子展帆体験」を実施することができませんでしたが、ボランティアの皆様のパワーが天気の神様に伝わったのか、総帆展帆日は強風ではありましたが、無事イベントを実施することができました。



強い西風のため、縦帆11枚のみ展帆しました。

期間中は海王丸だけでなく、「ミニ遊園地」や「はたらく車大集合」などの様々なイベントが実施され、県内外から多くの『わんぱくキッズ』がパークで楽しい思い出を作ることができました。



ムズムズくんも来たよ☆

展帆日の5日は海王丸乗船者数なんと2023人！
もうすぐ累計乗船者数が200万人を突破する見込みです。

大型客船 ☆入港☆

5月12日(土)に「ぱしふいっくびいなす」が海王岸壁に入港しました。 ※日本クルーズ客船(株)
出港時には花火が打ち上がり、海王丸パークの夜空が華やかになりました。多くの乗客が富山県を好きになったのではないのでしょうか？

乗客の方が海王丸に見学に来られたので、声をかけてみると「豪華な客船より、私は海王丸に宿泊してみたい」と言っていたのには驚きました！！

すかさずボランティアを薦めました (^o^)/



総トン数：26,594トン
全長：183.4m

団体海洋教室

4月から海洋教室がスタートしました。今年も多く的小学校や児童クラブ、スポーツ少年団から参加申し込みをいただきました。

海王丸でしか学ぶことのできない体験をすることで、1人でも多くの方に船や海に興味をもってもらえるよう、乗組員一丸となって対応していきます。

<海洋教室の主な訓練体験内容>

- ① カッター訓練
- ② マスト登り
- ③ 船内探検
- ④ 手旗信号実習
- ⑤ 結索実習
- ⑥ 火災避難訓練



海洋教室
訓練風景

海に親しみの少ない長野県や、岐阜県の子供達はパークの海を見て大興奮していました。

海洋教室 アンケートの結果

海洋教室では全ての訓練が終了して下船前に、子供達に簡単なアンケートを記入してもらっています。

その中には「将来、船に関係する仕事をしたいと思いましたか?」といった質問があります。去年1年間でのこの質問の集計結果は以下のとおりです。

- ・強く思った 12%
- ・思った 48%
- ・わからない 35%
- ・思わなかった 5%

参加した者の半分以上が思ったと回答していました。最近では小中学生のなりたい将来の夢に「ユーチューバー」がランクインしたとニュースで見ましたが、船・海の魅力も負けてないと個人的に思っています。

今後も海事思想の普及により一層励み、海洋教室等を実施していきたいと思えます。

練習船 大成丸 寄港

独立行政法人海技教育機構の練習船「大成丸」(3,990トン、奥知樹 船長)が5月21~25日に海王岸壁に寄港しました。

奥船長は富山商船高等専門学校の卒業生で、富山寄港を本当に喜んでおられました。



練習船「大成丸」は平成26年4月に就航し、伏木富山港の寄港は一昨年の5月以来、通算3回目です。船体は全長91メートル、全幅15.5メートルで、海技教育機構にある練習船5隻のなかで最も新しい練習船です。

新規ボランティア養成訓練

4~6月に2回の新規ボランティア養成訓練を実施し、新たに8名が仲間に加わりました。これから、すえなが一くよろしく願いいたします。

【平成30年度 第1期生】



左から、浅井淳司さん、宇都宮健二さん、庭山清策さん、神戸篤さん、大津美穂さんです。



訓練風景

<主な訓練内容>

- ① 海王丸の概要説明
- ② ぶら下がりテスト
- ③ シュラウド、マスト・ヤード登しょう訓練
- ④ 横帆・縦帆展帆訓練

※新規養成訓練は2日間かけて実施します。天候等の都合により変更はありますが、初日は教本の説明から始まり、ゲルン台までの登しょう訓練を実施します。翌日はセイル展帆や、状況が良ければマストトラック(一番上)まで向かいます。再訓練希望の方は参考にして下さい。

【平成30年度 第2期生】



後列：海王丸乗組員
前列左から、久保田仁貴さん、米田里恵さん、渡辺正宏さん（再訓練：小幡さん、浜浦さん）



訓練風景

※再訓練では、新規養成訓練と同じ内容で実施しています。基本姿勢の大切さはボランティアの皆様も十分理解されていると思いますが、もう一度『安全確認』されてはいかがでしょうか？展帆日と違った景色を見ることが出来るかもしれません。（再訓練に参加される場合は、事前に財団に連絡して下さい。）

今後の行事予定（7～9月）

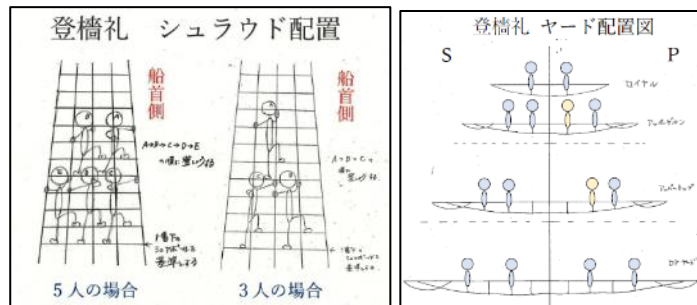
6月30・7月1日	新規養成訓練（再訓練）
7月7日（8日）	登しょう礼練習日（予備日）
7月14～16日	海王丸パークフェスティバル 親子展帆体験・ミニ展帆
7月16日	総帆展帆⑤ 登しょう礼・満船飾
7月29日	総帆展帆⑥ 富山新港花火大会
8月11日	親子展帆体験 ミニ展帆・満船飾
8月19日	総帆展帆⑦
9月8・9日	新規養成訓練（再訓練）
9月22～23日	秋のファミリーフェスティバル なごクルーズ（22日）
9月23日	総帆展帆⑧

※都合により、変更又は中止となる場合があります。

登しょう礼練習

7月7日に登しょう礼の練習を実施します。
（7日が雨天の場合は、8日に実施します。）

この日の練習は、当日の動きや配置の確認をしていきます。登しょう礼は「帆船における最高の敬礼」なため、参加ボランティアのチームワークが必要です。動と静の美しさと迫力を、見学に来られた方々に見てもらいましょう！！



手や足を置く場所などを練習日に確認します。

海王丸パークフェスティバル 2018

7月14～16日に海王丸パークフェスティバルを実施します。今年は富山新港開港50周年を記念する年となるため、多くのイベントを計画しています。

① 海王丸パークスタンプラリー

内容：海や港に関する問題を解きながらスタンプを集め、全てのスタンプを集めた参加者に景品を贈呈します。

② 海上見学会～海から見る富山湾～

内容：国土交通省が所有する港湾業務艇「なごかぜ」に乗船し、富山新港の説明を聞きながら港内を見学します。

③ 国際物流ターミナル見学会

内容：普段は入ることのできない国際物流ターミナルで、富山新港の概要や荷役作業について説明を受けます。

※②及び③は事前申込が必要です。

詳細は財団ホームページを参照して下さい。
（上記以外にも様々なイベントを開催します）

タモリカップ について

7月15日に国内最大規模のヨットレース「タモリカップ TOYAMA」を、今年も海王丸パークで開催します。タモリさんが海王丸の一日船長を務められ、参加チームやパークを盛り上げます。



富山新港花火大会 について

7月29日に「富山新港花火大会」を開催します。海王丸と新湊大橋をバックに、約2,000発の花火が夏の夜空を彩ります。富山新港の海上で開花する水中スターマインやロマンチックなムードを演出する恋花火、そしてフィナーレを飾る水中尺玉は迫力満点です。



※当日は道路と駐車場の混雑が予想されます。パークへお越しの際は、公共交通機関を利用されることをお勧めします。
 ※万葉線でご来場の方には、帰りの無料チケットが受け取れるサービスがあるそうです。
 『射水市港湾・観光課 TEL: 0766-51-6676』
 電車: 高岡駅下車→万葉線「高岡駅」から乗車→万葉線「海王丸駅」下車 (39分) →徒歩で約10分

ふね遺産 認定

海王丸「ふね遺産」

日本船舶海洋工学会が認定



第2回「ふね遺産」に認定された帆船海王丸。4月22日、海王丸パーク

射水市海王町(新湊)の海王丸パークに停泊している帆船海王丸が、日本船舶海洋工学会の第2回「ふね遺産」に認定された。同学会は、現存する最古の日本建造練習帆船として学術・技術的価値が高いと評価された。認定の通知が8日、船を所有する伏木富山港・海王丸財団に届いた。

同学会は国内の船舶工学と海洋工学をリードする学会で、1997年に設立。設立120周年記念事業として昨年、横浜港で保存・展示中の帆船「海王丸」を認定した。59年間の船員教育は日本で最長として活用されている。などを挙げた。

財団の柳野隆之会長は「進水日時にちなんで海王丸パークが恋人の聖地に選ばれるなど、海王丸の果たす役割は大きい。魅力を引きPRしていきたい」と話した。

新湊「現存する最古の練習帆船」

行い、1万1000人の船員を育てた。89年に引退し、92年から海王丸パークに停泊している。

同財団は、昨年12月に第2回認定に向けて帆船海王丸を申請。特徴として「日本最古の練習帆船」59年間の船員教育は日本で最長として活用されている。などを挙げた。

2018年6月9日 北日本新聞にて掲載されました。

ボランティア表彰 について

毎年、海の日にはボランティアの方に対して表彰(通算参加回数及び甲板作業時間に応じて)を行っています。今年は7月16日の展帆作業終了後のお昼休みを利用して行います。

平成2年から開始した総帆展帆は243回目を数えますが(平成30年6月17日現在)、そのうち200回以上参加されている方は10人もいます。また、甲板案内ボランティアにも積極的に参加いただき、1700時間を超える方もいます。

それぞれの表彰基準は以下の通りです。

展帆ボランティア

表彰名	参加回数
紺青(こんじょう)賞	50回
海王賞	100回
海王シルバー賞	150回
海王ゴールド賞	200回

甲板ボランティア

表彰名	参加時間
紺青賞	250時間
海王賞	500時間
海王シルバー賞	750時間
海王ゴールド賞	1000時間

「海王丸」の引揚船記録

ボランティア No. 805 安守 潔さん



昭和63年まで海王丸の甲板長を務められ、現在も展帆ボランティアとして海王丸を支えています。

メイン・ミドルステイスルを担当され、現役顔負けの腕前で、一人で1枚のセイルを完璧に畳んでくれています。

そんな安守さんが当時の記憶や経験を、一緒に海王丸を支えるボランティアの同士に伝えたら、ということので

「海王丸」の引揚船記録 ～「海王丸」展帆ボランティアの皆さんへ～

を舵輪に同封いたします。

舵輪 第154号
 発行日 2018年6月
 E-mail
 by-the-wind@
 kaiwomaru.jp

公益財団法人 伏木富山港・海王丸財団
 〒934-0023 富山県射水市海王町8番地
 TEL 0766-82-5181
 FAX 0766-82-5197
 URL <http://www.kaiwomaru.jp>